

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2024 年 第 25 週（6 月 17 日～6 月 23 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1 人 類型 患者 血清型 O111
四類感染症 レジオネラ症	2 人 病型 肺炎型 2 人
五類感染症 アメーバ赤痢	1 人 病型 腸管アメーバ症
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2 人 菌種 <i>Enterobacter</i> sp 1 人、 <i>Klebsiella</i> sp 1 人
急性脳炎	1 人 病原体 RS ウイルス
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人 血清群 A 群
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 無症状病原体保有者
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 人
梅毒	11 人 病型 早期顕症Ⅰ期 6 人、 早期顕症Ⅱ期 2 人、 無症状病原体保有者 3 人
百日咳	2 人 年齢階級 0 歳 1 人、60 歳代 1 人

## &lt; 定点把握対象疾患の患者情報 &gt;

新型コロナウイルス感染症(5. 07→5. 68: 図 1) の定点当たり報告数は、第 19 週以降、緩やかな増加傾向にある。保健所別では、草加(10. 11) 保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は 42 人(前週 28 人) と増加した。手足口病(4. 28→7. 04: 図 2-1, 2) の定点当たり報告数は、前週から更に大きく増加し、2022 年の流行のピークと同水準となった。保健所別では、県内 17 保健所中、16 保健所管内で前週の値を上回っており、特に春日部(5. 50→13. 33)、熊谷(5. 38→12. 13) 保健所管内において前週より大きく増加した。年齢階級別では 1 歳及び 2 歳からの報告が多く、約 57% となっている。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(4. 85→4. 29: 図 3-1, 2) の定点当たり報告数は、第 21 週以降減少傾向にあるが、引き続き高い水準にある。保健所別では、春日部(11. 83)、幸手(11. 33) 保健所管内からの報告が特に多く、南部(8. 80) 保健所管内からの報告も多い。ヘルパンギーナ(0. 90→1. 42: 図 4) の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、熊谷(4. 75)、川口市(3. 58) 保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 7 人、流行性角結膜炎 46 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、細菌性髄膜炎 2 人、マイコプラズマ肺炎 5 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/nid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。



図 3-1 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

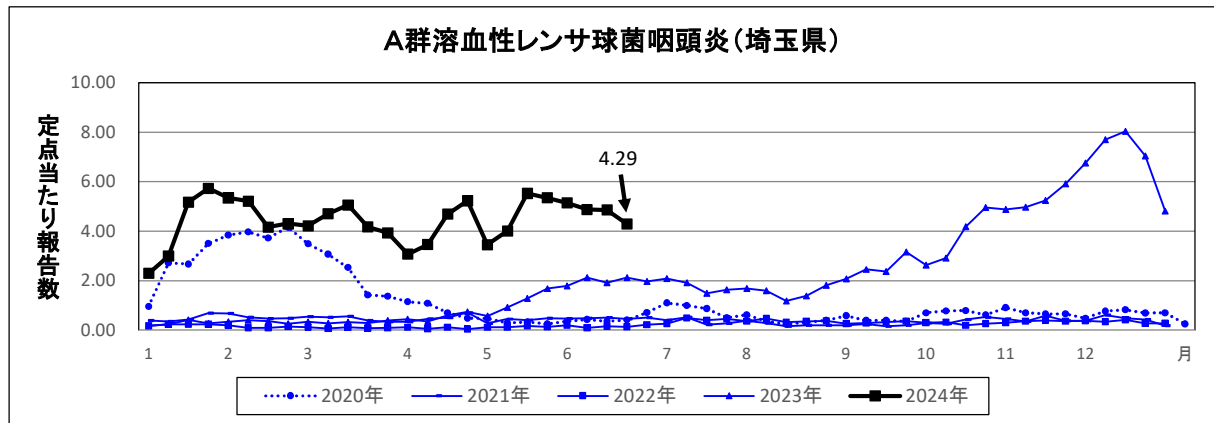


図 3-2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移 (2024 年第 23 週～第 25 週)

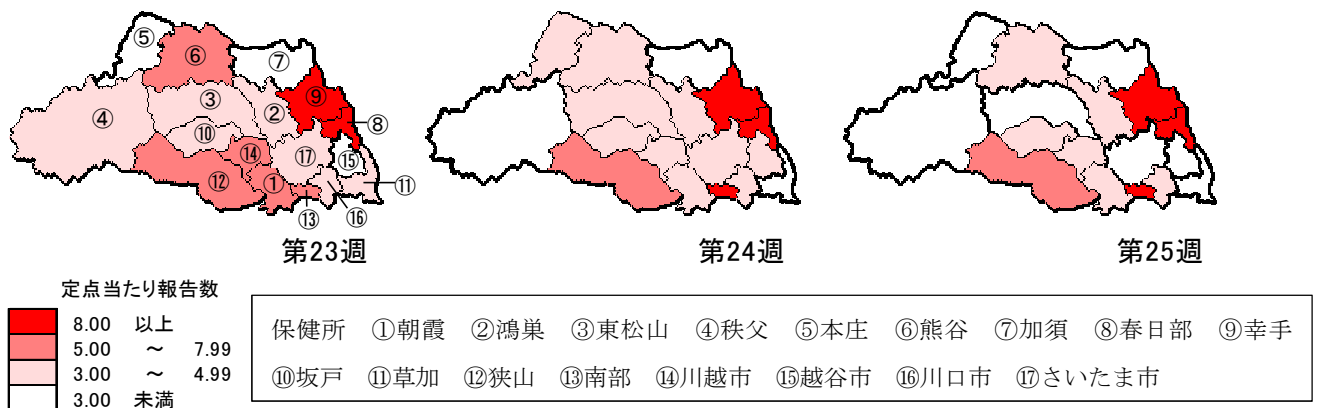
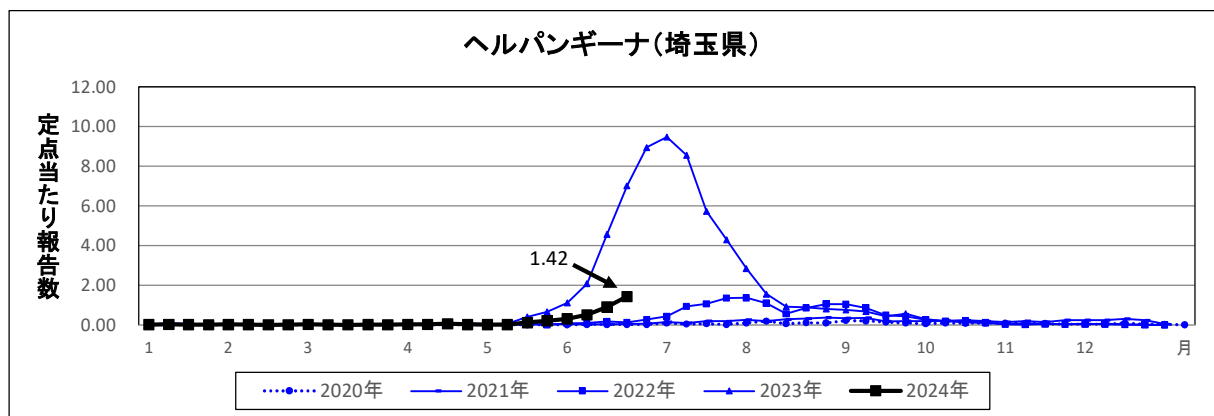


図 4 ヘルパンギーナの定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第25週)

(2024年6月25日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	1	58			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		22	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	48
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		5	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢	1	13	侵襲性肺炎球菌感染症		49
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		6	水痘(入院例に限る)		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	36	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	11	210
急性脳炎	1	14	播種性クリプトコックス症		6
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	72	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	17	百日咳	2	30
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	14	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第25週

6月17日~6月23日)

保 健 所	報告数 #1	インフル エンザ	新型 コロナ ウイル ス感 染症	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎 #2	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 #3	感 染 性 胃 腸 炎 ( ロ タ ウ ィ ル ス )	イ ン フ ル エ ン ザ ( 入 院 )	新 型 コ ロ ナ ウ ィ ル ス 感 染 症 ( 入 院 )
全 県	31	1,478	123	161	699	840	59	1,148	20	64	232	21	7	46	2	-	5	-	-	-	-	42
	0.12	5.68	0.75	0.99	4.29	5.15	0.36	7.04	0.12	0.39	1.42	0.13	0.17	1.10	0.17	-	0.42	-	-	-	-	3.50
朝 霞	-	161	11	17	52	90	9	88	1	7	8	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5
	-	7.00	0.73	1.13	3.47	6.00	0.60	5.87	0.07	0.47	0.53	0.13	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	5.00
鴻 巣	5	130	12	23	51	65	-	119	-	7	29	2	-	2	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.26	6.84	1.00	1.92	4.25	5.42	-	9.92	-	0.58	2.42	0.17	-	0.67	*	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	-	27	1	1	8	29	-	34	-	2	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	-	3.38	0.20	0.20	1.60	5.80	-	6.80	-	0.40	0.80	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	-	25	3	-	6	1	-	23	-	-	1	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	1
	-	5.00	1.00	-	2.00	0.33	-	7.67	-	-	0.33	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	1.00
本 庄	4	8	-	1	4	-	8	30	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	0.57	1.14	-	0.25	1.00	-	2.00	7.50	-	0.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
熊 谷	3	62	1	9	37	32	-	97	-	5	38	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5
	0.23	4.77	0.13	1.13	4.63	4.00	-	12.13	-	0.63	4.75	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	5.00
加 須	-	35	1	3	7	1	1	40	-	2	12	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2
	-	3.50	0.17	0.50	1.17	0.17	0.17	6.67	-	0.33	2.00	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	2.00
春 日 部	2	75	6	5	71	45	1	80	-	1	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.20	7.50	1.00	0.83	11.83	7.50	0.17	13.33	-	0.17	-	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	2	108	8	20	102	21	7	57	-	3	7	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.14	7.71	0.89	2.22	11.33	2.33	0.78	6.33	-	0.33	0.78	0.22	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	1	46	-	4	25	59	-	41	1	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	0.10	4.60	-	0.67	4.17	9.83	-	6.83	0.17	0.50	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
草 加	7	192	6	11	28	70	2	34	5	3	26	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.37	10.11	0.50	0.92	2.33	5.83	0.17	2.83	0.42	0.25	2.17	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	3	154	22	10	97	40	2	66	-	3	11	4	3	9	-	-	-	-	-	-	-	4
	0.12	6.16	1.38	0.63	6.06	2.50	0.13	4.13	-	0.19	0.69	0.25	0.60	1.80	-	-	-	-	-	-	-	4.00
南 部	-	54	25	9	44	52	2	27	-	-	6	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
	-	6.75	5.00	1.80	8.80	10.40	0.40	5.40	-	-	1.20	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	3.00
川 越 市	-	52	3	2	32	23	10	45	-	4	3	-	-	5	*	*	*	*	*	*	*	*
	-	3.71	0.38	0.25	4.00	2.88	1.25	5.63	-	0.50	0.38	-	-	2.50	*	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	-	82	4	5	16	34	4	34	-	2	12	-	-	1	1	-	3	-	-	-	-	5
	-	6.31	0.50	0.63	2.00	4.25	0.50	4.25	-	0.25	1.50	-	-	0.50	1.00	-	3.00	-	-	-	-	5.00
川 口 市	1	107	8	17	50	103	4	89	9	3	43	5	-	9	-	-	1	-	-	-	-	7
	0.05	5.63	0.67	1.42	4.17	8.58	0.33	7.42	0.75	0.25	3.58	0.42	-	2.25	-	-	1.00	-	-	-	-	7.00
さいたま市	3	160	12	24	69	175	9	244	4	18	24	3	4	13	-	-	-	-	-	-	-	4
	0.07	3.72	0.43	0.86	2.46	6.25	0.32	8.71	0.14	0.64	0.86	0.11	0.44	1.44	-	-	-	-	-	-	-	4.00

( - : 0.00 ) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

6月 25日 14:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第25週 6月17日～6月23日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	31	-	2	1	-	1	1	-	-	1	-	-	8	3	5	3	5	-	1	-	-	
新型コロナウイルス感染症	1,478	12	15	24	19	10	5	12	9	4	7	12	128	146	192	153	179	248	110	90	103	
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	123	16	32	36	21	14	3	1	-	-	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	161	-	9	58	17	19	16	14	7	6	2	6	3	1	3							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	699	-	8	28	41	56	78	87	71	80	59	59	102	7	23							
感染性胃腸炎	840	6	50	100	71	60	81	75	60	56	59	47	112	12	51							
水痘	59	-	1	4	3	2	2	2	5	10	5	11	13	-	1							
手足口病	1,148	12	125	403	254	141	91	70	18	11	1	7	8	-	7							
伝染性紅斑	20	-	-	1	1	3	1	4	1	2	2	3	2	-	-							
突発性発しん	64	-	16	35	9	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	232	-	17	63	54	20	31	19	6	6	2	5	7	-	2							
流行性耳下腺炎	21	-	-	-	-	5	3	7	4	2	-	-	-	-	-							
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	7	-	-	1	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	46	1	-	-	2	2	3	2	1	3	4	-	1	1	2	11	6	4	1	2	-	-
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	5	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
新型コロナウイルス感染症(入院)	42	1	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	3	2	-	4	29					

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第23週 (6月3日～6月9日)

令和6年6月26日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:**インフルエンザの定点当たり報告数は第12週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は茨城県(1.27)、沖縄県(1.00)、島根県(0.39)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は21例と前週と比較して減少した。都道府県別では16都道府県から報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～9歳(7例)、40代(1例)、50代(1例)、60代(3例)、70代(4例)、80歳以上(4例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(19.58)、鹿児島県(8.73)、北海道(6.67)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,400例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(41例)、1～9歳(37例)、10代(11例)、20代(22例)、30代(28例)、40代(25例)、50代(71例)、60代(155例)、70代(330例)、80歳以上(680例)であった。

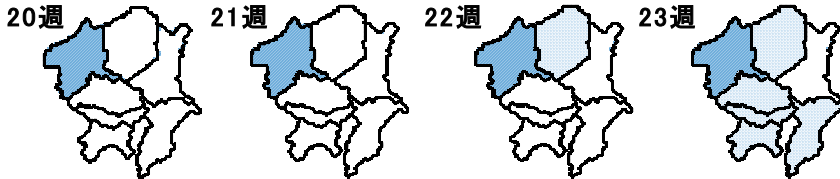
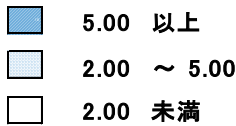
**小児科定点報告疾患(主なもの):**RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(4.13)、山口県(3.37)、宮崎県(3.22)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は岩手県(3.15)、北海道(2.28)、富山県(2.14)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福岡県(9.75)、鳥取県(9.74)、北海道(8.64)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(15.06)、熊本県(7.82)、愛媛県(6.97)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は群馬県(9.25)、鹿児島県(8.69)、三重県(8.67)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は高知県(3.08)、三重県(2.20)、群馬県(2.15)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は滋賀県(0.17)、青森県(0.14)、東京都(0.14)、大阪府(0.12)である。**基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.00)、青森県(1.17)、福島県(0.86)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は横ばいであった。10都道府県から16例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～4歳(1例)、5～9歳(11例)、20代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第23週(6月3日～6月9日):通巻第26巻 第23号 より

## <関東情報>

手足口病の定点当たり報告数は、群馬県(9.25)からの報告が多い。

### 手足口病



2024年 23週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	861	383	152	4	24	32	48	62
	定点当たり	0.17	0.25	1.27	0.05	0.28	0.12	0.24	0.15
新型コロナウイルス感染症	報告数	19,719	6,600	468	247	260	1,276	1,124	1,707
	定点当たり	3.99	4.33	3.90	3.29	3.06	4.91	5.56	4.07
RSウイルス感染症	報告数	4,308	818	56	46	23	163	125	246
	定点当たり	1.37	0.85	0.75	0.98	0.43	0.99	1.00	0.93
咽頭結膜熱	報告数	2,798	633	63	14	40	148	101	134
	定点当たり	0.89	0.66	0.84	0.30	0.75	0.90	0.81	0.51
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	15,322	4,302	513	223	216	798	762	1,044
	定点当たり	4.87	4.47	6.84	4.74	4.08	4.87	6.10	3.95
感染性胃腸炎	報告数	15,276	4,368	240	136	267	907	624	1,284
	定点当たり	4.86	4.54	3.20	2.89	5.04	5.53	4.99	4.86
水痘	報告数	671	282	5	4	6	66	44	82
	定点当たり	0.21	0.29	0.07	0.09	0.11	0.40	0.35	0.31
手足口病	報告数	12,037	2,817	119	178	490	393	397	742
	定点当たり	3.83	2.93	1.59	3.79	9.25	2.40	3.18	2.81
伝染性紅斑	報告数	270	193	-	11	1	12	16	98
	定点当たり	0.09	0.20	-	0.23	0.02	0.07	0.13	0.37
突発性発しん	報告数	1,062	327	9	17	31	66	30	100
	定点当たり	0.34	0.34	0.12	0.36	0.58	0.40	0.24	0.38
ヘルパンギーナ	報告数	2,024	547	25	22	114	84	68	173
	定点当たり	0.64	0.57	0.33	0.47	2.15	0.51	0.54	0.66
流行性耳下腺炎	報告数	215	92	2	2	2	17	10	38
	定点当たり	0.07	0.10	0.03	0.04	0.04	0.10	0.08	0.14
急性出血性結膜炎	報告数	25	11	-	-	-	9	-	-
	定点当たり	0.04	0.05	-	-	-	0.21	-	-
流行性角結膜炎	報告数	569	222	38	5	4	37	31	16
	定点当たり	0.82	1.07	2.24	0.42	0.29	0.88	0.94	0.41
細菌性髄膜炎 #2	報告数	12	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	19	2	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.04	0.02	-	-	-	-	0.04	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	120	21	3	-	2	5	1	8
	定点当たり	0.25	0.24	0.23	-	0.22	0.42	0.11	0.32
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	1	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	0.08	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	16	1	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.03	0.01	-	0.14	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

## 手足口病

手足口病は子供を中心に夏に多くみられる病気で、病名のとおり、手（手のひら）や足（足の裏）や口（口の粘膜）に水疱ができます。過去 10 年を振り返ると、2015 年、2017 年、2019 年、2022 年には警報開始基準値である定点当たり報告数 5.0 を超える流行がありました。2024 年は第 25 週に定点当たり報告数が 7.04 となり、5.0 を超えました。流行期は初夏から初秋にかけてですが、2024 年は 5 月下旬から流行の兆しがあり、例年よりも早い流行期入りとなっています。

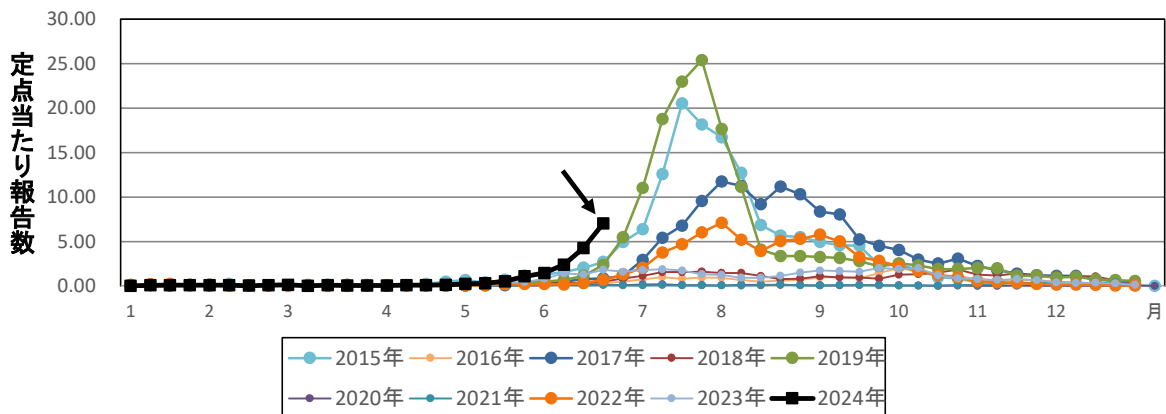


図 1 過去 10 年の手足口病定点当たり報告数 (埼玉県)

手足口病の原因となるウイルスは主にコクサッキーウイルス A6 型、A16 型、エンテロウイルス A71 型などで、流行の中心となるウイルスは年によって変化します。2024 年は 5 月に採取された検体から 9 件のコクサッキーウイルス A6 型が検出されました。コクサッキーウイルス A6 型は、流行の大きかった 2015 年、2017 年、2019 年、2022 年にも多く検出されている型になります。

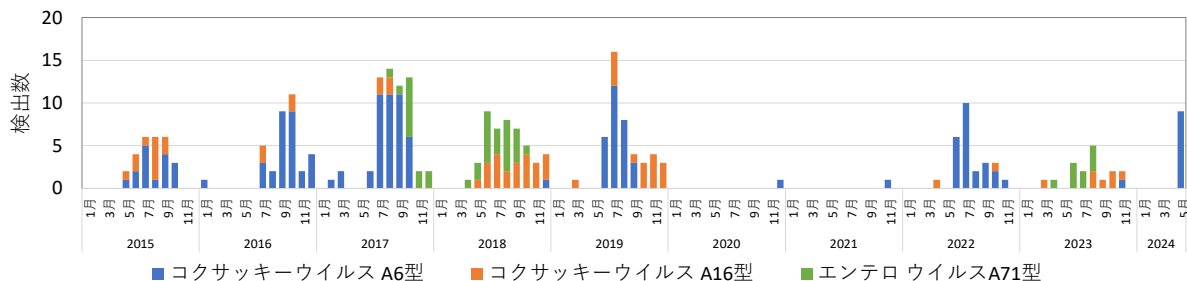


図 2 手足口病からの主なウイルス検出状況 (埼玉県)

手足口病の原因ウイルスの感染経路は飛沫感染、接触感染及び糞口感染であり、予防には手洗いの励行や排泄物の適切な処理が重要です。

病原体定点医療機関の先生方には引き続き検体採取へのご協力をお願いします。



感染症発生動向調査  
2024年

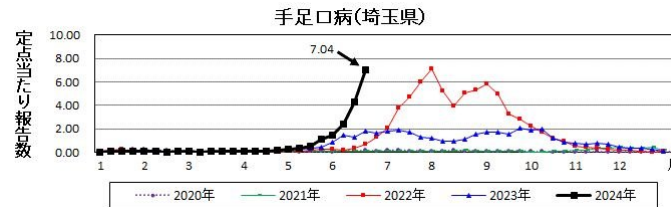
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

## 感染症の流行状況 2024年 第25週

2024年第25週（6月17日～6月23日）の要点

[手足口病](#)の定点当たり報告数は、前週から更に大きく増加し、2022年の流行のピークと同水準となりました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★	<a href="#">手足口病</a>	↑	★★★★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↑	—	<a href="#">伝染性紅斑（りんご病）</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↓	★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱（プール熱）</a>	→	★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	↑	★★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↓	★★★★	<a href="#">流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★★
<a href="#">水痘（みずぼうそう）</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★★★★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）\*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

